

川の市民情報

2018年

7

国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所 RCM事務局 URL : <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
 TEL : 045-503-4015 FAX : 045-503-4092 メール / ktr-keihia50@mlit.go.jp

リバーシビックマネージャー(RCM):住民のボランティア活動の一環として、河川管理の支援をしていただくことを目的に創設された制度です

平成30年7月豪雨にTEC-FORCEを派遣しました

台風第7号及び梅雨前線の影響により、西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となり、全国各地で甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方に心より御見舞い申し上げます。

京浜河川事務所では、7月9日～7月15日まで中国地方整備局に TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)を派遣しました。

1. 出発式:7月9日(月) 17時40分
2. 派遣期間:7月9日(月)～7月15日(日)
3. 派遣先:岡山県英田郡西粟倉村 吉野川他
岡山県井原市 小田川支流
4. 派遣者:河川班4名
5. 任務:被災状況調査等



活動状況



出発式の様子

※TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)とは被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を行うために実施しているものです。詳細は下記のHPでご確認いただけます。

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/pch-tec/index.html>

多摩川改修100年パネルリレー出発式を開催しました

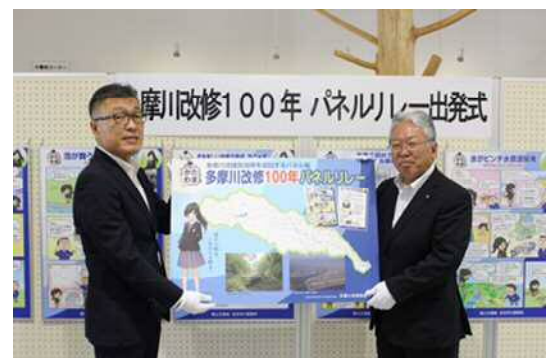
平成30年7月23日(月)多摩川の源流地域である山梨県小菅村の『道の駅 こすげ』で、『多摩川改修100年パネルリレー出発式』を開催しました。

今年は、国による多摩川改修事業を開始してから、ちょうど100年の節目の年です。多摩川の歴史や改修事業を振り返り、学ぶことによって、今後、将来の多摩川がどうあるべきかという議論のきっかけとなるよう、パネル展示を来年3月まで、各都県、市区町村にてパネルをリレーしていきます。

まずは、源流の小菅村で展示をスタートします。各自治体の展示時期や展示場所については、京浜河川事務所のホームページに掲載しておりますのでご確認ください。

【出発式概要】

- 日時:平成30年7月23日(月)11:30～11:45
 場所:山梨県小菅村 道の駅こすげ ふれあい館
 内容:小菅村 船木村長 ご挨拶
 流域協議会会長 渋谷事務所長 挨拶 等



パネルリレー出発式の様子

平成30年6月は報告をいただけませんでした。

皆様からのご報告
お待ちしております！

平成30年6月末日をもって、第9期リバーシビックマネージャーの任期が満了となりました。第9期で委嘱終了となる皆様には、これまでのご協力に心から感謝申し上げますとともに、今後の一層のご活躍を祈念いたします。また、川とのご縁を大切に、今後も自由なお立場でご意見等いただけるよう、改めてお願い申し上げます。

2年間、誠にありがとうございました。

第10期の皆様には、今後のリバーシビックマネージャーの活動をよろしく申し上げます。

「八王子浅川ガサガサ探検隊」が開催されました

八王子浅川水辺の楽校の「八王子浅川ガサガサ探検隊」が開催されました。

浅川に生息する生き物の採集や、ボートに乗って川遊びをしました。八王子市内の子ども達150名とその保護者合わせて300名以上の方の参加があり、大賑わいでした。

また、八王子浅川ガサガサ探検隊長として、子どもたちに生き物のとり方や川遊びの方法等を教えてくれている俳優の中本賢さんの参加もあり、川の流れ方や採取した水生昆虫や魚の名前を教えてくださいました。ヨシノボリやシマドジョウ、水生昆虫が良く捕れました。

日時:平成30年7月8日(日) 9時~13時

場所:浅川 鶴巻橋周辺



開校式



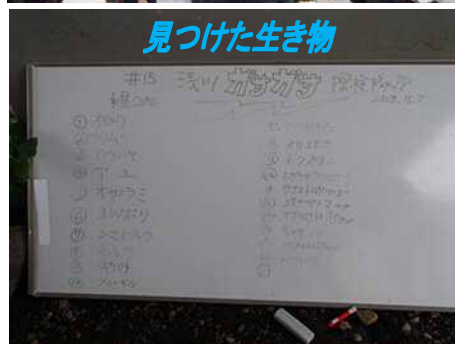
川流れ



中本賢さんの説明



ボート遊び



見つけた生き物

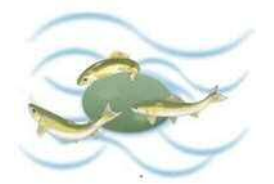


いっぱいヨシノボリ

多摩川、相模川でアユの遡上が大幅に増えました！

多摩川、相模川でアユの遡上が大幅に増えていることがわかりました。

平成30年の調査結果で、多摩川では東京都の発表によりますと994万尾となり調査開始以降2番目に多い数と推定され、相模川では神奈川県に確認したところ4,610万尾となり調査開始以降最多と推定されています。



RCM事務局より

連日全国各地で猛暑日が続く中、気象庁は7月23日に東日本と西日本では、気温の高い状態は8月上旬にかけて続き、最高気温が35度以上の猛暑日が続く所もある見込みと発表しました。7月23日には埼玉県熊谷市で41.1度を観測し観測史上の国内最高気温を更新、全国4箇所の観測地点で40度以上を観測、241箇所の観測地点で35度以上の猛暑日を観測するなど、「熱中症で命を落とす危険性もある」ほどの高温となりました。これからも天気予報に注意し、予報最高気温の高い日には熱中症の予防対策を心がけましょう。

RCM事務局 松本